

アジア太平洋地域におけるデータセキュリティ、パンデミックの現実に対処するために進化

2020年タレス データ脅威レポート – APAC（アジア太平洋）版

2020年タレス データ脅威レポート– APAC(アジア太平洋)版は、ITおよびデータセキュリティに責任または影響力のある全世界1,723人の経営幹部に対して行った調査のうち、APAC(オーストラリア、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、韓国)の500人以上の調査結果をまとめたものである。タレスの委託によりIDCが調査、報告、分析を行った。

#2020DataThreat



データ脅威がまん延



APACの組織の27%が、直近1年間にデータ侵害を受けたことを認めている。



APACの組織の47%が、過去にデータ侵害を経験したことがある。



APACの回答者の34%がデータセキュリティに重点を置いているが、割り当てられる予算は平均してITセキュリティ予算全体の14.5%にすぎない。

クラウドにある機密データが増大



APACの組織では全データの45%がクラウドに保存されている。



APACの組織がクラウドに保存するデータの42%が機密データである。

クラウドのセキュリティ対策は十分か？



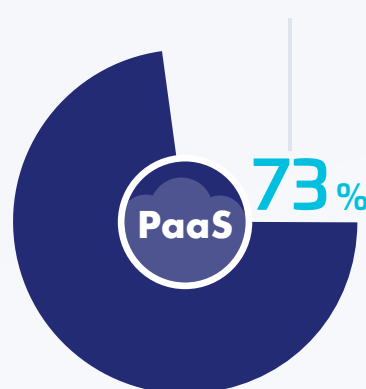
99%のAPACの組織が、暗号化によって保護されていない機密データが少なくともある程度はクラウドにあると回答している。



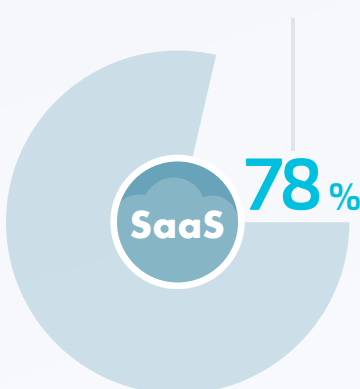
クラウドの全機密データのうち、暗号化によって保護されているのはわずか52%である。

マルチクラウド化する世界

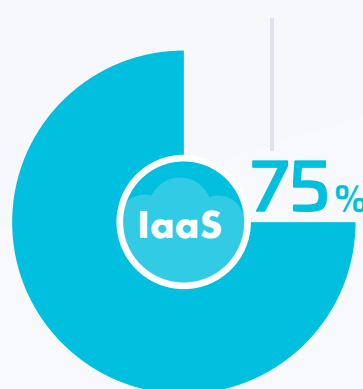
73%の組織が、2社以上のPaaSプロバイダーを使用している。



78%の組織が、11社以上のSaaSプロバイダーを使用している。



75%の組織が、2社以上のIaaSプロバイダーを使用している。



量子コンピューティングへの備えは？

93%

組織の93%が、量子コンピューティングが機密データへの脅威になると懸念している。

組織の75%が、今後5年以内に量子コンピューティングが自組織の暗号化運用に影響を与えると考えている。

75%

ゼロトラスト世界の最新データセキュリティ



機密データの検出



機密データの暗号化



暗号鍵の保護



ユーザーアクセスの制御

cpl.thalesgroup.com/APAC-DTR から、IDCの提言を含むレポート全文をダウンロードできます。

THALES

決断の瞬間のための、
確実なテクノロジー。

Unit 1106-1107
New Kowloon Plaza 38 Tai Kok Tsui Road
Kowloon, Hong Kong

+852 2815 8633



cpl.thalesgroup.com/APAC-DTR

#2020DataThreat

© Thales - September 2020 • EHV14

ご協賛いただいたスポンサー企業:



KEYFACTOR

PURESTORAGE®

cloud
CSA security
allianceSM

OASIS
Open standards. Open source.

Canon
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

netpoleon
Network • Security

uniPoint

FIRST TECH

Ti Safe

cpl.thalesgroup.com/APAC-DTR から、IDCの提言を含むレポート全文をダウンロードできます。

RESEARCH AND ANALYSIS FROM:

